

口腔育成系診療科 矯正歯科

外来 外来診療棟C 3F 連絡先 022-717-8376(外来)

ホームページ <https://www.hosp.tohoku.ac.jp/departments/d2103>



科長
溝口 到 教授

主な対象疾患

- 歯ならびや咬み合わせの異常(一般の不正咬合)
- 顎のかたちの異常による歯ならびや咬み合わせの異常(顎変形症)

診療内容

矯正歯科は、自費診療である一般矯正歯科治療に加えて、顎の外科手術を要する顎変形症の矯正歯科治療が保険適用される科です。当科では、一般的な不正咬合、顎変形症による不正咬合など乳歯列の小児期から永久歯列の成人、高齢者に至るすべての年齢層における不正咬合に対して、患者さんの視点に立ち、満足の得られるように、矯正歯科治療を行っています。また、様々な最先端の治療技術を用いて侵襲性の少ない治療を提供しています。特に最先端の矯正歯科治療の一つとして歯科矯正用アンカースクリューを用いた矯正歯科治療を積極的に行っております。さらに、高度な技術を必要とする表からは見えない矯正歯科治療(舌側ブラケット矯正)も積極的に行っています。顎口腔機能異常に対しても、ナソヘキサグラフ、筋電図などの顎機能検査を取り入れ形態と機能との調和を考慮した治療を行っています。現在、問題視されている睡眠時無呼吸症(SAS)に対しても留意した治療を行っています。他にも、包括的歯科治療として他科の先生方や地域医療に携わる先生方との連携を図り咬合管理、外科的矯正治療、歯周-矯正歯科治療、補綴前矯正歯科治療なども行っております。

診療体制

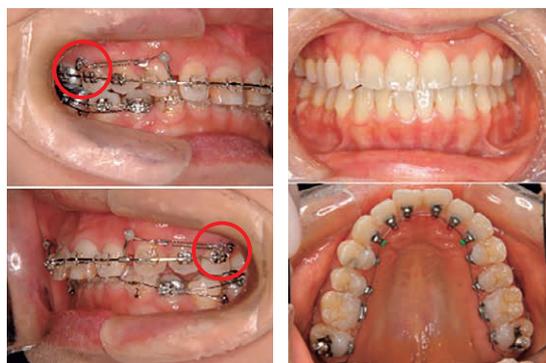
当科での診療は、日本矯正歯科学会認定の指導医、認定医および臨床指導医を中心として総勢35名で充実した診療を行っております。当科では、通常診療は、平日(月～金)の全日、初診相談は、平日(月～金)の午前に行っております。矯正検査および診断は、水曜日午前および金曜日午後に行っております。咬合力検査、顎運動検査、咀嚼能力検査は、月、火、木、金に行い、それらの結果を事前にカンファレンスを行い、診断を行っております。言語治療、咀嚼筋筋電図検査などは、専門スタッフが行っており、高度な医療の提供ができます。

得意分野

当科では、歯科矯正用アンカースクリューを取り入れ、その技術の開発、改良を行い、様々な使用法を確立いたしました。歯科矯正用アンカースクリューを固定源に用いることで従来の矯正歯科治療では困難であった方向や量の歯の移動が可能となり治療期間の短縮や難症例の矯正歯科治療が可能になりました。平成26年度より保険適用が承認され、顎変形症や様々な症候群の患者さんへの使用も可能となり、適応症例はさらに拡大しました。特に顎外固定装置に対して協力が期待できない場合や、外科的矯正治療あるいは抜歯などを避けたい症例、多数歯欠損や歯周疾患があり十分な固定源の得られない症例などに有用であります。



スタッフ集合写真



歯科矯正用アンカースクリューを利用した矯正歯科治療

見えない矯正歯科治療(舌側ブラケット矯正)

ご紹介いただく際の留意事項

- 新患日は月～金曜日の午前中となっております。
- お電話(当科外来022-717-8376)、当院地域医療連携センターのいずれによる予約も可能となっており、院内紹介も随時、受け付けております。
- ご紹介の際に紹介状があることが望ましいです。